青森県立五所川原高等学校　令和６年度　第一学年通信　第９号　　発行：３月１日（土）

Inclusion インクルージョン いんくるーじょん

◎１月進研模試の結果（受験者１６５名）…大変良い結果でした！

１月１８日（土）に実施した模擬試験の結果が出ました。お子様の個人成績については、２月２５日（火）に配付しました。

さて、全体の結果ですが、大変良い結果でした。国数英総合では、過去５年間で最高タイの平均偏差値（SS56.2）で、SS70 以上８名、SS60 以上 48 名、SS50 以上 131 名は過去５年間で最多でした。以前お知らせした学年通信第５号（8/22 発行）に掲載した学年目標は、１月進研模試の国数英総合で SS70 以上５名、SS60 以上 35 名としていましたが、目標をクリアすることができました。しかも、SS50 以上 131 名は受験者全体の 79.4%で、約８割が全国平均を上回ったことになります。上位層だけでなく、全体的に大いに頑張った結果と言えます。将来の進路志望実現に向けて前向きな結果でしたので、２年次夏休みのオープンキャンパスの行き先を検討する参考にしてください。

科目	国数英総合	国　語	数　学	英　語
平均点偏差値	56.2	54.8	57.4	53.7
偏差値	累積（人数）	累積（人数）	累積（人数）	累積（人数）
70～	8	4	13	3
60～	48	41	61	33
50～	131	126	132	110

※下線は過去５年間で最多

◎次年度のお知らせ　※詳しくは次年度の学年 PTA において説明いたします。

① Classi の導入

第２回学年 PTA でお伝えしていましたが、今年度先行トライアルとして無料で活用してきた Classi を正式に導入することといたしました。つきましては、次年度の徴収金に年間利用料 3,960 円（税込み）を計上させていただきます。ご負担をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

② 学年統一の手帳の終了

①で費用を要することから、学年統一での手帳を今年度で終了します。今後は、各自で使い勝手の良い手帳を準備して活用して欲しいと思います。

◎GTZ 別講演会（第１回目）を実施しました！　“GTZ”＝学習到達度ゾーン

２月２５日（火)、３年生が国公立大学前期二次試験の日、ベネッセコーポレーションの佐々木さんをお招きして GTZ 別講演会を実施しました。今回の対象者は、１月進研模試において GTZ が A３～B２の国公立大学を志望する希望者です。約６０名が参加しました。

進研模試偏差値	GTZ	主な進学先
78～	S1	【難関国公立大】 一般入試合格レベル
73～	S2	
69～	S3	
65～	A1	【国公立大・中堅私立大】 一般入試合格レベル
61～	A2	
58～	A3	
54～	B1	【国公立大・中堅私立大】 一般入試挑戦レベル
50～	B2	
46～	B3	【看護・医療系専門学校】 一般入試合格レベル
43～	C1	【私立大、看護・医療系専門学校】 推薦入試合格レベル
41～	C2	
39～	C3	

東北大

北海道大・筑波大・千葉大

小樽商大・金沢大・新潟大・埼玉大

弘前大・岩手大・秋田大・山形大・福島大

地元公立大

東北学院大・東北福祉大

上図にもありますように、国公立大学に手が届くところが GTZ：A３～B２のゾーンです。

講演会の中では、

①目標（志望校・GTZ)、②現状（１月模試における国数英の点数)、

③ ②の要因（なぜ結果が良かった or 悪かったのか？)、④これから何をするのか

この４項目に沿って、参加した生徒達は自分自身を振り返っていました。

佐々木さんからは、『「3 教科（国数英）の基礎定着度が高い」ほど、大学入学共通テストでも高得点を取れている。』という統計を紹介していただきました。

模試も考査もすべて終わったこの３月、本校では卒業式・高校入試と休みの日が続きます。２年生の後半からは、模試の科目に理科・地歴公民が加わります。そのために、この３月に、国数英の基礎を固めることが２年生のスタートダッシュになります。

今後は、今回の GTZ 帯以外を対象とした講演会を随時開催する予定です。それぞれのゾーンで今、必要なことを具体的にアドバイスしていきます。奮って参加して欲しいと思います。

◎担任変更のお知らせ

I2HR 担任の岩崎先生が、この３月より産前休暇に入ります。それに伴い、残り１か月の I2HR の担任を、１組副担任の毛内先生に務めてもらいます。（I2HR の生徒には校長より直接連絡しております。）どうぞ、よろしくお願いいたします。